

## 新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者の評価結果について（平成27年度中間）

## (ア) 取組実績の評価（1）：事業の実施状況の評価

## 評価項目

## 1 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組

- (1) 「地域課題への取組」にかかる支援の実施状況
- (2) 「つながりの拡充」にかかる支援の実施状況
- (3) 「組織運営」にかかる支援の実施状況
- (4) 「区独自取組」にかかる支援の実施状況

評価	左記の理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主自律的に運営実施できるように、各支援員が日々各担当地域に出向き、信頼関係を築いて支援活動を実施できている。アンケート調査結果のとおり、支援員は地域に受け入れられていると考える。</li> <li>・ いずれの地域も熱心に取り組んでいる「防災」「福祉」の課題に着目し、防災避難訓練などの企画・運営・実施の支援や、高齢者見守り事業などの事業計画や実施の支援を軸に各地域と一層深く関わりをもつように進めている。また、会議開催・運営のノウハウの提供や、事業開催周知のためのフェイスブックの活用やポスターやチラシ作成などの作業を通じて、世代を超えた新たな担い手・協力者を見つけ出す工夫をおこなっている。</li> <li>・ 各地域の活動が軌道に乗ってきたことから、今年度より、各地域毎の活動状況を報告する「情報交換会」が自発的に開催され、他地域の良いところを見習おうという意識になったことは、支援の成果と考える。</li> <li>・ これまで一番力を入れて支援してきた「会計」については、大きな制度変更が無く、これまでの支援が定着してきているが、事業計画書・決算報告書等の作成はまだ支援を要する地域があり、その周知についてまでできている地域はまだ少ないため、SNSや紙媒体により広く周知が出来るレベルまで支援してもらいたい。</li> <li>・ SNSの活用は、地域によって情報発信力に差が生じているが、概ねいずれの地域も活用は出来ている。加えて、今年度は紙媒体である広報紙の作成にも力を入れて支援しており、ネット環境になじまないお年寄りなどにも情報がいきわたるように取り組みを進めることができている。</li> <li>・ さまざまな地域団体との連携・協働は、福祉課題を通じて病院や包括支援センターと、また防災課題を通じて小中学校と進みつつあるが、企業やNPOとはあまり進んでいない。今後、引き続き</li> </ul>

	<p>き「まちづくりセンター」が計画的に主導し、着実に進んでいくよう支援してもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世代間継承を見据え、若者の参加、人材育成が急務な中、地域まつりや地域の成人式などで積極的にボランティア参加者を募集するなどしており、目的意識をもって支援がおこなえている。</li> <li>・幅広い住民参加をめざして、地域で孤立しがちな子育て中のお母さんたちに対しては、フェイスブックを活用して「子育てサロン」に集う流れをつくる工夫をするなど積極的に支援している。</li> <li>・「地域公共人材」の活用や「法人格の取得」に対する各地域ニーズは無いのが実情であるが、今後、「区独自取組」を実施する場面や、新たな担い手を育成する必要が生じたタイミングで、活用、取得について説明してもらいたい。</li> <li>・CB/SBについて、収益が法人市民税均等割額を上回るほどの事業規模の予定がなく、また当区の現在の地域活動レベルで取り組めるものは多くないが、バザーなどの小さな取組みから推奨し続け、好事例の紹介など情報提供もしながら、意識改革できるように努めてほしい。</li> </ul>
--	---

## (イ) 取組実績の評価(2): 事業の実施体制等の評価

## 評価項目

- 1 自由提案による地域支援の実施状況
- 2 スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制
- 3 フォロー(バックアップ)体制等
- 4 区のマネジメントに対応した取組

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月1日付でベテラン支援員1名が人事異動により新人に変わったが、アドバイザーに加え他の支援員がフォローできた。</li> <li>・新人が地域に受け入れられるまでに要する時間も考慮し、従前の支援員が「4地域を週3日勤務」での勤務を、週4日勤務に増やして対応した。</li> <li>・まちづくりセンターと区役所職員は、日々地域情報を交換しながら意思疎通を図っており、お互いに信頼関係を築きスムーズに行えており、随時、アドバイザーとの打合せもおこなっている。支援員から、各地域担当職員への情報提供もできている。</li> <li>・地活協の将来像について、区役所と意識を共有しながら、計画的に進めてもらいたい。</li> </ul>

## (ウ) 取組効果の評価：目標等の達成状況の評価

## 評価項目

- 1 アンケート調査
- 2 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組
  - (1) 「地域課題への取組」の達成状況
  - (2) 「つながりの拡充」の達成状況
  - (3) 「組織運営」の達成状況
  - (4) 「区独自取組」の達成状況
- 3 その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりセンターへの地域の運営委員などの出入りが以前よりも多くなっており、アンケート調査結果も前年度と比較して、昨年以上に評価が上がっており、地域から必要とされていることが見て取れる。</li> <li>・SNSの活用による広報の充実により、事前事業開催告知がうまく進んでいる地域では、前年と比べて参加者数も増えている。</li> <li>・事業計画書・決算報告書等の周知は、広く地域住民に信頼を得る重要な手段であり、新たな担い手を確保する手段でもと考え、SNSや紙媒体による周知が出来るように支援されたい。</li> <li>・運営委員会の会議を、各部会ごとに開催するようになってからは、自分が興味のある共通の課題について議論出来ることが多くなり、取り組み姿勢が積極的になり、活性化してきている。</li> <li>・地域による進捗度にかなり差が出てきており、今後、個々の地域に応じた支援スケジュール、メニュー、プランをつくる必要があると考える。</li> </ul>

## (エ) 総合評価

上記の評価を踏まえ、総合的に評価

## 1 総合評価 I

項目	評価	左記の理由
(1) 地域課題等の把握・分析・整理	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれの地域も熱心に取り組んでいる「防災」「福祉」の課題に着目し、防災避難訓練などの企画・運営・実施の支援や、高齢者見守り事業などの事業計画や実施の支援から各地域と関わりをもつように進めている。</li> <li>また、会議開催・運営のノウハウの提供や、事業開催周知のためのフェイスブックの活用やポスターやチラシ作成などの作業を通じて、世代を超えた新たな担い手・協力者を見つけ出す工夫をおこなっている。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度より、各地域の活動が軌道に乗ってきたことから、各地域毎の活動状況を報告する「情報交換会」が自発的に開催され、他地域の良いところを見習おうという意識になったことは、支援の成果と考える。</li> </ul>
(2) 目標（支援策）の明確化とそこに向けた戦略・シナリオの策定	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代間継承を見据え、若者の参加、人材育成が急務な中、地域まつりや地域での成人式などで、積極的にボランティア参加者を募集するなどしており、目的意識をもった支援が行えている。</li> </ul>
(3) 区のマネジメントに合った取組	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域による進捗度にかなり差が出てきており、今後、個々の地域に応じた支援スケジュール、テーマ、メニューをつくる必要があると考える。</li> </ul>

## 2 総合評価Ⅱ

項目	評価	左記の理由
総合評価（全体）	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果でも、地域への支援に対する評価は昨年度よりも一層高まっている。</li> <li>・情報交換会の自主的開催や広報に力を入れた取組みなど、地道な支援が実を結んできている。</li> <li>・地域による進捗度にかなり差が出てきており、今後、個々の地域に応じた支援スケジュール、テーマ、メニューをつくる必要がある。</li> <li>・これまでは、おもに「自律的運営にむけた地域活動協議会の取組」の第1ステージの各項目の達成に力を注いできたところであるが、次年度目標を第2ステージの全項目の達成にすえて取り組むことから、支援員の経験、力量により地域への支援に差が生じることも含めて、各地域毎に進捗管理できるように月次計画をたて、進捗管理をおこなう必要がある。</li> </ul>

## (評価基準)

S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた

A：本市の求める水準以上の効果が得られた

B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた

C：本市の求める水準の効果が得られていない